

9 わたしたちにできること

■みんなでチャレンジ

1. 地球環境の大切さを学ぼう

学校、家庭で地球環境問題について学びあい、環境に負担のかからない生活を実践しましょう。



出前講座のようす

2. 地域などでの環境イベントや環境保全活動に参加しよう

地域や市の環境イベントや、リサイクル活動、環境美化活動などに積極的に参加しましょう。



環境美化活動※



環境体験講座

※「福山Clean up (クリーンアップ) 大作戦」
福山のきれいな環境の実現のため市内・事業者・行政が連携し、市内の街中や海岸などのごみを拾う活動

3. 室温の目安は、夏28度、冬

は20度をすいしょうしています
部屋の環境によって室温は変わるため、温度計などで確認しよう



4. バスや電車、自転車などの環境にやさしい交通機関を利用しよう



中心部じゅん環バス「まわローズ」

5. 電気やテレビなどのスイッチはこまめに切り節電しよう



6. 蛇口はこまめに閉める、シャワーを使う時間を短くするなど、節水をしよう

7. 朝型生活を進めよう

朝早くから活動して夜は休むというライフスタイル(生活)は、一日を健康的に過ごすことができるだけでなく、夜遅くまで使用しているテレビや照明などの使用時間をへらすことができ、二酸化炭素の削減にもつながります。

できることから
実行しよう!



8. リサイクル製品を進んで使おう



それぞれのマークは環境にやさしい取組をしているマークです。みんなでこのマークがどこにあるか調べてみよう。

9. ごみをへらす工夫を身につけよう



詰め替え商品を選ぶ

10. 資源回収や古紙のリサイクルに協力しよう



11. マイバッグ、マイボトル、マイはしを持ち歩こう



12. 打ち水や屋上、壁面の緑化など自然の力を活用しよう

緑のカーテン、雨水を利用した打ち水、風通しがよく太陽光を取り込みやすい構造にするなど、自然の力を活用した建物とすることで、冷暖房にかかるエネルギーが節約できます。

13. 地産地消を推進しよう

地元で生産されたものを地元で消費することで、輸送に使われるエネルギーをへらすことができます。

★福山市地産地消推進のシンボルマーク
愛称：ふくやま生まれ

市民の皆さんが、農林水産物やその加工食品を選ぶときに一目で市内産であることが分かるための目印です。

★ふくやまブランド農産物のシンボルマーク
愛称：ふくやまSUN

ふくやまブランド農産物を消費者に身近で分かりやすく提供するため、シンボルマークを出荷箱、容器、袋などに表示して市場に出荷しています。

14. 給食を残さず食べよう

給食を残すことは、生産された食物を無駄にしてしまうことにもつながります。「もったいない」という心を持って、食べ物を残さないようにしましょう。

15. フードドライブに参加しよう

どうしても使い切れない未使用食品は、みんなで環境にやさしい取組を考えてみよう。

環境について積極的に取り組んでいる学校

福山市内には、「環境学習」や「環境を守る活動」を積極的に取り組んでいる小中学校が多くあります。

地域や行政、あるいは企業と協力し、積極的に環境学習を進めている学校の中には全国表彰を受賞した学校もあります。

環境学習や環境を守る活動は、その地域の特色に合わせたものを行うことで効果も高くなり、学べることも多くなります。

環境にやさしい緑のカーテン

緑のカーテンは、ゴーヤなどのつる性植物を育てて壁や窓をカーテンのように覆うことで、夏の日差しや暑さをやわらげます。福山市内でも多くの小学校などで緑のカーテンに取り組んでいます。



緑のカーテンをすると…
室温が3度ぐらい下がるといわれているんじや。
さらに電気代の節約ができ、地球温暖化の防止にもつながるんじや。



みんなで環境にやさしい取組を考えてみよう。